

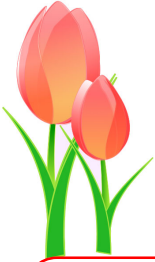
令和5年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年5月8日(月)

校長 高橋 励



～保護者の皆さまへ～

おうえん かんせん
応援・観戦

ありがとうございました

運動部の春の大会も大型連休まででひと段落。会場を巡る中、応援・観戦で足を運ばれていた保護者の方々からお声がけいただきました。ありがとうございました。

それぞれの会場で、選手の背中を押している声援を聞きました。「がんばれ！」は、時に無理を強いる言葉として受け取られることもあります。チームの仲間や保護者の声援（競技によっては声の代わりの拍手）が選手のパワーになるシーンに出会うことができました。

これから本格的に動き出す体育祭でも生徒一人ひとりの取り組みに「がんばれ！」の想いを向けていただければと願っています。

～地域の皆さまへ～

たいいくさい れんしゅう はじ
体育祭の練習が始まりました

5月20日(土)に体育祭を予定しています。令和2年度から3年間、コロナ感染症拡大防止の観点から地域の方々の来校をお断りしておりましたが、今年度は久しぶりに中学生の活躍を参観していただける見通しです。本日より2週間、練習などで音楽や掛け声などが響くと思いますが、赤羽根の里の子どもたちの成長の証と受け止めてご容赦いただければ幸いです。ご理解くださいますようお願いいたします。

～保護者の皆さまへ～

ちやくしん かくにん
着信、確認してください！

～COCOOのテスト送信～

欠席等の連絡ツールとしてすでにご活用いただいているCOCOOですが、5月1日(月)にメール機能でテスト配信をいたしました。システム上は100%の配信率となっておりますが、無事に届いてますでしょうか。配信率とは別に開封率も表示されますが、6日(土)12:00の時点で91.5%となっていました。今後、学校からの緊急連絡もこのシステムに移行していく見通しです。着信がありましたら、まずは「開いて確認」をお願いいたします。

また、未登録のご家庭が20件弱確認されました。今回着信がないご家庭は、改めて登録がされているかお確かめください。

なお、登録の際に必要な用紙がお手元ない場合は、担任を通じてお申し出ください。

Dear Student(*^_^*)

本日、全校集会で表彰伝達をしました。紙面の都合で春の大会結果報告は次号で掲載します。ところで、茅ヶ崎寒川地区では7月1日(土)を皮切りに今年度の中体連総合体育大会が始まります。吹奏楽連盟のコンクールは7月26日(水)から。その間に、中間テスト・修学旅行・キャンプもあります。どれも大事。でも与えられた時間はみな平等に1日24時間。できれば見通しを立てて取り組んでみませんか？成長のチャンスです！



Dear Student(*^_^*)



わたしは、日常の生活の中でふとみせるあなたたちのステキな振る舞いや行動がとても好きです。今回ここで話題にさせてもらったエピソードの主人公たちも、謙虚でつつまじやかですがわたしの心を“ぎゅっ”とつかんでくれました。

体育祭に向けた準備が始まりました。全体を見渡し、リーダーとして目立つ立場で指示を出したりする人の役割も必要で大切です。でも、リーダーたちを支え、動かしているのは、実は一人ひとりの“あなた”たち。たくさんステキと出会えるのが楽しみです。

「トン・トン！」

この赤羽根中学校は、けっこう砂が上がるけれど、意外に昇降口キレイ。掃除当番もがんばっていますが、家庭訪問期間で簡易清掃の間も意外にキレイだったと思いませんか？きっと誰かが、いつの間にか掃き清めてくれているのでしょう（ちなみにわたしではありません。でも、その「誰か」がステキだと思ってわたしも階段の掃き掃除始めました）。

4月のとある日、朝、昇降口までの階段を掃いているとき、階段の一番下でつま先を「トン・トン！」とする生徒の姿。砂を掃く姿を見て、砂を上げないように靴裏の砂を落としてくれたようです。「気配り」とか「心配り」というコトバがありますが、階段を掃いた人（わたし）の気持ちを押し量って「靴の砂を落として上がろう」と行動に移す人がいたことに驚き、うれしく思いました。

そういえば…去年、体育祭の前日準備で昇降口の掃き掃除をしてくれていたステキな“とある部”の人たちをこの学校便りで紹介したけれど、今年の体育祭、一人ひとりが心がけてくれたら、昇降口に上がる砂が半分以下になるんじゃないかなあ、と一人思う校長です。

「たのもしい せなか」

ある朝、正門で、登校してきた3年生が「道で泣いていた小学生を2年生の子が小学校まで連れて行っています」と伝えてくれました。時間的に遅刻してしまうかもしれない下級生のために自分ができていることを考えて、その2年生のために伝えてくれたのでしよう。ところが、30分を過ぎて50分近くまで待っていても姿を表しません。職員室に戻って話題にしてみると「ギリギリ間に合っていますよ」とのこと。小学生を送り届けたあと、それでも時間にはきちんと間に合わせようと急いで坂をのぼり、30分より前にわたしの目の前を通りすぎていたようです。道徳の教科書に載っていきそうな話ですね。

人には優しくできるほうがよい。遅刻はしないほうがよい。でも、どうすればいいかを自分の判断で行動に移すって大人でも難しいかもしれない。ちなみに、このステキな2年生、小学生を背負って送ってくれたと聞いています。そんなステキな人がいることがとてもうれしい校長です。

「おはようございま〜す！」

4月終わりのとある朝、いつもは“ただの通行人”として正門を通過する立場だった数名の赤中生の“声をかける側”として一緒にあいさつする姿がありました。きっかけは、呼びかける側に並んでみようと思った一人の生徒の行動で、それを見た別の生徒が加わりました（こんな風に自分事として捉えて行動する態度を“自発的”や“主体的”といいますね）。その日、本部役員の一人在「全校生徒が並んで朝のあいさつ運動できたら…」とつぶやくのを耳にしましたが、そうなら面白いの…と本気で思う校長でした（ちなみに本部役員の方々が柔軟に受け入れてくれるから、このステキな光景が生まれたことはいうまでもないこと。いつもありがとう。生徒総会もがんばってね）。